

会計基準アドバイザー・フォーラムについて

会計基準アドバイザリー・フォーラム①

- 2012年11月1日、国際会計基準審議会(IASB)の母体である国際会計基準(IFRS)財団は、IASBと各国基準設定主体との意見交換を行う場として、多国間の会計基準設定主体による会計基準アドバイザリー・フォーラム(Accounting Standards Advisory Forum; ASAF)を設立するとの提案を公表し、12月17日までパブリック・コメントに付した。
- 2013年2月1日、IFRS財団は、パブリック・コメントへのフィードバック文書を公表するとともに、ASAFメンバー候補の募集を開始し、3月19日にメンバーを公表。
第一回会議を4月8日-9日に開催する予定とされている。

会計基準アドバイザー・フォーラム②

ASAFの概要

【役割】

- 基準設定活動に関連した主要な技術的論点に関する助言及び見解のIASBへの提供。
- 各国・地域の論点に関するインプットの提供。

【メンバー構成】

- 各国基準設定主体や会計基準に関する地域ネットワークから構成。
- メンバーは合計12。
 - 内訳は、アジア・オセアニア3、米州3、欧州3、アフリカ1、世界全体(World at large)2
- 設立時のメンバー構成(括弧内はメンバー数)
 - アジア・オセアニア(4;世界全体枠1を含む):日本、オーストラリア、中国、
香港(アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ(AOSSG)代表)
 - 欧州(4;世界全体枠1を含む):ドイツ、欧州財務報告諮問グループ(EFRAG)、スペイン、英国
 - 米州(3):ブラジル(ラテンアメリカ会計基準設定主体グループ(GLASS)代表)、カナダ、米国
 - アフリカ(1):南アフリカ(全アフリカ会計士連盟(PAFA)が支援)
- メンバー要件は2年に1回見直し。
- メンバーの選定に際しては、専門的な能力、ASAFのメンバーとして活動するために利用可能なリソースの規模、程度、専門性等を考慮。
- IASB議長もしくは副議長がASAF議長を務める。

会計基準アドバイザー・フォーラム③

ASAFの概要(続き)

【MoU】:ASAFメンバーはIFRS財団に対し、IFRS財団はASAFメンバーに対し、それぞれ一定の事項へのコミットを表明しなければならない。

<ASAFメンバーのIFRS財団へのコミット事項>

- IFRS財団の使命である「単一で高品質、理解が容易、執行可能性が保たれ、グローバルに通用している会計基準の開発」を支援し貢献する。
- 上記の活動に貢献するため、様々な国々・地域からの、IASBの技術的な活動に対するインプットを促進する。
- 専門的なリソース(基準設定経験や専門知識を有する代表の任命、ASAF会議の準備への専門的なリソースの割当てや実質的で専門的な議論への参加)を提供する。
- 時間・旅費も含めASAFメンバーとして活動するために必要なリソースを提供する。
- ASAFによる公表物によってIASBの独立性、その品位及びIASBがIFRSの最終的な決定者であるという立場を阻害又は疑義をもたせるようなことがないということを保証することで、IASBの独立性を尊重する。

(注)パブリック・コメント時の「各国・地域におけるIFRSの統合的な適用を支援する」及び「完全かつカーブアウトをしない形のIFRSのエンドースメントとアドプションを推進するために最善の努力を尽くす」との文言は削除。

会計基準アドバイザー・フォーラム④

ASAFの概要(続き)

【MoU】

<IFRS財団のASAFメンバーへのコミット事項>

- ASAFに積極的に関与し、ASAFの意見がIASBに誠実かつ完全に伝わるようにする。
- ASAFの活動に貢献するためテクニカルなリソースを提供する。
- ASAFとIASB間に必要なリエゾン、連携、サポートを提供する。
- アジェンダを準備し、アジェンダと関連資料を適時に回付することにより、ASAFメンバーが十分に準備し、積極的かつ建設的にASAFの議論や作業に従事できるようにする。
- ASAFを開催するために必要なリソースと事務局機能を提供する。
- 全てのアジェンダや関連資料、会議の様様を公開し、ASAFの議論の完全な透明性を確保する。
- ASAFメンバーの独立性を尊重する。